

1 令和2年度学校評価の基本方針

（1）本校の学校評価（自己評価）は、文部科学省「学校評価ガイドライン」（平成22年7月20日）に則して実施し、以下に沿って自己評価報告書の作成と公表を行う。

① 令和2年12月に、本校生徒・保護者・教職員（管理職を除く）に対して学校評価アンケートを実施し、それをふまえて令和3年3月に、本校管理職による「学校評価（自己評価）報告書」を作成し、本校生徒・保護者に対して本校ホームページ上で公表する。

② 「学校評価（自己評価）報告書」について、以下の学校関係者から意見等を聴取する。

・令和3年4月 第1回PTA運営委員会において本校PTA役員より

・令和3年5月 第1回学校評議員会において本校学校評議員より

なお、教育学部附属四校園の学校評議員会は、令和3年10月に「令和元年度千葉大学教育学部附属学校園学校評議員会学校評価報告書」を作成し、公表する予定である。

（2）本校の学校評価（自己評価）は、中等教育を行う学校としての一般的な評価項目についてとともに、国立大学教員養成系学部附属学校としての社会的使命及び本校の学校教育目標に照らした評価項目を盛り込んだ学校評価として行う。

（3）本校の学校評価（自己評価）は、「学校評価ガイドライン」の趣旨の通り、自らの教育活動その他の学校運営について、組織的・継続的な改善を図り、その説明責任を果たすことが第一の目的である。そのことによって、保護者等から理解と参画を得て、連携協力による学校づくりを進めることを意図している。さらに、学校設置者である国立大学法人千葉大学によって、その結果に応じた支援や条件整備等の改善措置が講じられ、教育水準の保証・向上が図られることを目的として行う。

2 本校学校評価（自己評価）の実施概要

（1）学校評価アンケートの実施

① 学校評価アンケートは、本校生徒・保護者・教職員を対象として、学習指導・生徒指導・学校運営（教育環境の整備・教育方針の具現化・附属学校としての責務の遂行等）に関する項目について、評価基準は5…そう思う 4…ややそう思う 3…どちらとも言えない 2…あまりそう思わない 1…そう思わない の5段階での評価を依頼した。

② 学校評価アンケートの回収率は以下の通りであった。

・生徒… 95.8% ・保護者… 70.6% ・教職員… 100.0%

（2）学校評価（自己評価）報告書（本書）の作成

① 本報告書は本校副校長及び校務室教員が各対象者ごとにまとめた原案をもとに、校長の責任において総括した。その際に、学校評価アンケートに反映されていない要素をも含めた、包括的な自己評価となるようにした。

② 本年度の学校評価アンケートについては平成30年度一部修正を行っている。

③ △はマイナスを示す。

3 学校評価アンケートの結果の概要

(1) 生徒アンケート

評価基準は5・・・そう思う 4・・・ややそう思う 3・・・どちらとも言えない 2・・・あまりそう思わない 1・・・そう思わない の5段階です。

	番号	評価項目	学年	5	4	3	2	1	平均	R1年度 平均	増減
学習指導	1	先生はわかりやすく工夫した、充実した授業をしていると思いますか。	1年生	96	51	1	0	0	4.64	4.50	0.14
			2年生	103	35	11	2	1	4.56	4.34	0.22
			3年生	76	41	14	2	3	4.36	4.57	△ 0.21
			全学年	275	127	26	4	4	4.52	4.47	0.05
	2	あなたは、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていますか。	1年生	26	56	34	28	4	3.49	3.81	△ 0.32
			2年生	44	50	34	20	4	3.72	3.68	0.04
			3年生	45	58	17	11	5	3.94	4.26	△ 0.32
			全学年	115	164	85	59	13	3.72	3.92	△ 0.20
	3	あなたは、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したりできていると思いますか。	1年生	30	58	38	18	4	3.62	3.89	△ 0.26
			2年生	48	53	34	13	4	3.84	3.53	0.32
			3年生	35	54	24	18	5	3.71	4.10	△ 0.39
			全学年	113	165	96	49	13	3.73	3.84	△ 0.11
生徒指導	4	先生は一人一人の性格や考え方を大切に、良さを伸ばす指導をしていると思いますか。	1年生	75	56	13	4	0	4.37	4.26	0.11
			2年生	88	41	16	4	3	4.36	4.11	0.25
			3年生	68	44	17	3	4	4.25	4.37	△ 0.12
			全学年	231	141	46	11	7	4.33	4.24	0.08
	5	先生は困った時に親身になって対応していると思いますか。	1年生	94	36	13	5	0	4.48	4.28	0.20
			2年生	97	35	13	3	4	4.43	4.20	0.23
			3年生	73	40	20	1	2	4.33	4.40	△ 0.07
			全学年	264	111	46	9	6	4.42	4.29	0.12
	6	あなたは、ルールやマナーを守り、学年にふさわしい規律や規範意識をもつことができていますか。	1年生	76	57	14	1	0	4.41	4.42	△ 0.01
			2年生	95	36	12	6	2	4.43	4.36	0.07
			3年生	82	44	7	3	0	4.51	4.61	△ 0.09
			全学年	253	137	33	10	2	4.45	4.46	△ 0.01
学校運営	7	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。	1年生	78	41	19	7	3	4.25	4.13	0.12
			2年生	75	51	14	9	3	4.22	4.07	0.15
			3年生	54	42	30	9	1	4.03	4.27	△ 0.25
			全学年	207	134	63	25	7	4.17	4.16	0.01
	8	学校は自分が将来、社会に出た時に役に立つ力をつけてくれていると思いますか。	1年生	102	35	8	3	0	4.60	4.33	0.26
			2年生	93	41	17	1	0	4.49	4.25	0.24
			3年生	78	33	14	10	0	4.33	4.51	△ 0.18
			全学年	273	109	39	14	0	4.47	4.37	0.11
	9	学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習など特色のある活動になじんでいると思いますか。	1年生	92	38	15	2	1	4.48	4.51	△ 0.03
			2年生	103	31	14	2	2	4.52	4.39	0.13
			3年生	76	36	16	6	1	4.34	4.67	△ 0.34
			全学年	271	105	45	10	4	4.44	4.52	△ 0.08
	10	本校に入学して良かったと思いますか。	1年生	121	19	6	2	0	4.75	4.57	0.19
			2年生	116	21	11	2	2	4.63	4.19	0.44
			3年生	79	34	15	1	6	4.33	4.74	△ 0.41
			全学年	316	74	32	5	8	4.57	4.50	0.07

① 学習指導

学習指導に関しては、質問1「先生はわかりやすく工夫した充実した授業をしていると思いますか。」に関しては平均値が4.52となっていて、昨年度よりも0.05ポイント向上している。3年連続の向上である。授業に関していえば、ほとんどの生徒が好意的にとらえていることが確認できた。教職員の日々の教材研究の成果が現れていると解釈することのできるデータの一つであると言える。しかし、3年生のみ昨年度より0.21ポイント低下している。個に応じた指導を要望する記述がいくつかあったことから、生徒の実態に応じた授業づくりをより進めていく必要があるといった解釈ができるデータであると言える。そうはいっても、3年生の平均値が4.36であることを考えればおおむね満足いく結果であるともいえる。

質問2「あなたは、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていますか。」、質問3「あなたは、積極的に意見を发表或し、自分で課題を解決したりできていますか。」の項目に関しては、昨年度よりそれぞれ、0.20、0.11ポイント低下している。昨年度に続き低下している状況である。今年度は、新型コロナウイルス感染予防のための休校措置により、多くの教科で課題やリモート授業が行われたことによる影響であると考えられる。また、休校期間中の教育課程を消化するため少々ハイペースで授業が行われていたことの影響もあったと考えられる。各教科等の宿題で心身のバランスを崩していた生徒が数名存在していたことも課題であるといえる。宿題の出し方等を工夫していかなければならない。自分で見通しをもって学習に取り組むことの苦手な生徒への具体的な手立てを今後検討しなければならない。

② 生徒指導

生徒指導に関しては、全ての質問の平均値が4を上回っている。「先生は一人一人の性格や考え方を大切に、良さを伸ばす指導をしていると思いますか。」と「先生は困ったときに親身になって対応していると思いますか。」に関しては、それぞれ0.08、0.12ポイントと昨年度よりわずかではあるが向上している。しかし、3年生のみ平均値が昨年度より下回っている。新型コロナウイルス感染予防のために運動会、校外学習の中止や、文化祭の縮小開催などが影響していることが考えられる。3年生は、行事が中止、縮小になった関係で下級生に様々な伝統を引き継ぐことが難しくなっていることもあり、1・2年生よりも評価が厳しくなっていることが考えられる。とはいえ、コロナ禍の状況であっても平均値がすべて4を超えていることは、評価できていると考えている。また、教職員が生徒の一人一人の状況を踏まえ丁寧に指導を行っていることで、平均値が4以上の高評価につながったと考えられる。昨年度と同様に、生徒指導や教育相談の機能をいかした取り組みを積極的に行ってきたことを生徒が好意的にとらえていると考えられる。生徒個々の丁寧な分析を行い今後の指導に生かし、改善していかなければならない。

③ 学校運営

学校運営に関しては、「学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。」との質問は、他の質問と比較すると低い傾向にある。自由記述の欄に男子更衣室の整備やロッカーの老朽化や使いづらさなどの記述があったことから、施設・設備の老朽化が影響していると解釈することができる。計画的に施設、設備の改修等を行っていく必要がある。

「学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習などの特色ある活動になじんでいると思いますか。」については、昨年度よりも0.08ポイント低下している。0.08ポイントであればさほど問題であるとはいえないが、3年生は0.34ポイント低下している。生徒指導での項目でも述べた通り、学校行事の中止や縮小開催が影響しているといえる。本校の3年生は後輩へ伝統を引き継ぐことへの意識が高く、伝統の継承が難しい状況へのもどかしさを感じていると解釈することができる。コロナ禍でも3年生の生徒が納得できるような工夫が必要な状況となっている。

「本校に入学して良かったと思いますか。」平均値が4.57ポイントと高評価である。本校の学校の特性を生徒が理解するだけではなく、教職員の日々の取り組みや授業研究の成果が現れたデータであり、学校運営に関してはおおむね高評価であると言える。しかし、先述した生徒会活動と同様に3年生の平均値が4.33と他学年と比較すると低い状況である。コロナ禍が続くようであれば、今後、改善していかなければならない。

④ その他（前年度との比較から）

今年度は、コロナ禍であることが影響し3年生の評価が厳しい状況であった。3年生は、学校行事等の中止や縮小などの事情で、学校生活が充実しないことにもどかしさを感じていたことが影響していたのであろう。教職員も工夫して全力で対応していたことを考えると改善点を見出すことは簡単ではない。コロナ禍でも学習指導以外の項目の平均値が4.0を上回っている状況はおおむね良好であるにとらえている。

(2) 保護者アンケート

評価基準は5・・・そう思う 4・・・ややそう思う 3・・・どちらとも言えない 2・・・あまりそう思わない 1・・・そう思わない の5段階です。											
	番号	評価項目	学年	5	4	3	2	1	平均	R1年度平均	増減
学習指導	1	学校の授業は、わかりやすく工夫をした、充実したものだと思いませんか。	1年生	42	49	27	4	1	4.02	4.10	△ 0.08
			2年生	40	53	36	7	0	3.92	3.97	△ 0.05
			3年生	47	35	16	3	0	4.24	4.20	0.05
			全学年	129	137	79	14	1	4.06	4.09	△ 0.03
	2	お子様は、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていますか。	1年生	22	45	32	17	15	3.33	3.42	△ 0.09
			2年生	37	43	24	24	14	3.46	3.57	△ 0.11
			3年生	44	30	24	7	3	3.98	3.91	0.06
			全学年	103	118	80	48	32	3.59	3.63	△ 0.05
	3	お子様は、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したりできていると思いませんか。	1年生	37	45	30	12	6	3.74	3.61	0.13
			2年生	35	49	30	19	6	3.63	3.48	0.15
			3年生	33	44	18	10	3	3.87	3.92	△ 0.06
			全学年	105	138	78	41	15	3.75	3.67	0.07
生徒指導	4	教員は生徒一人一人の性格や考え方を大切に、良さを伸ばす指導をしていると思いませんか。	1年生	43	48	30	6	0	4.02	3.87	0.15
			2年生	46	53	32	4	2	4.00	3.77	0.23
			3年生	48	37	16	6	0	4.18	4.02	0.16
			全学年	137	138	78	16	2	4.07	3.89	0.18
	5	教員は生徒が困った時に親身になって対応していると思いませんか。	1年生	57	42	25	1	0	4.25	3.97	0.28
			2年生	51	51	29	6	1	4.06	3.94	0.12
			3年生	56	37	9	5	0	4.34	4.14	0.20
			全学年	164	130	63	12	1	4.22	4.02	0.20
	6	お子様は、ルールやマナーを守り、学年にふさわしい規律や規範意識をもつことができているか。	1年生	66	49	13	1	2	4.34	4.25	0.09
			2年生	62	57	16	6	1	4.22	4.22	△ 0.00
			3年生	58	39	10	1	0	4.42	4.51	△ 0.09
			全学年	186	145	39	8	3	4.33	4.33	△ 0.00
学校運営	7	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いませんか。	1年生	61	46	10	6	1	4.29	4.25	0.04
			2年生	54	55	29	0	0	4.18	4.12	0.06
			3年生	55	38	11	2	1	4.35	4.28	0.06
			全学年	170	139	50	8	2	4.27	4.22	0.06
	8	学校はお子様に、将来社会に出た時に役に立つ力をつけていると思いませんか。	1年生	53	53	20	2	1	4.21	4.14	0.07
			2年生	58	49	24	6	0	4.16	3.99	0.17
			3年生	59	33	12	1	1	4.40	4.33	0.06
			全学年	170	135	56	9	2	4.25	4.16	0.10
	9	お子様は、学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習など特色ある活動になじんでいると思いませんか。	1年生	66	53	7	4	0	4.39	4.37	0.02
			2年生	75	42	20	4	1	4.31	4.22	0.10
			3年生	63	33	8	3	0	4.46	4.61	△ 0.16
			全学年	204	128	35	11	1	4.39	4.40	△ 0.01
	10	附属中学校に入学させて良かったと思いませんか。	1年生	83	33	11	1	2	4.49	4.49	△ 0.00
			2年生	88	34	14	4	2	4.42	4.15	0.27
			3年生	72	22	8	3	1	4.52	4.48	0.04
			全学年	243	89	33	8	5	4.48	4.37	0.10
	11	学校は情報公開や家庭との連絡・連携に努めていると思いませんか。	1年生	43	58	20	6	2	4.05	3.86	0.19
			2年生	54	52	27	6	3	4.05	4.08	△ 0.03
			3年生	61	33	13	0	0	4.45	4.16	0.29
			全学年	158	143	60	12	5	4.18	4.03	0.15
	12	学校は国立大学附属学校としての社会的使命を十分に果たしていると思いませんか。	1年生	53	50	21	3	0	4.20	4.12	0.08
			2年生	64	41	25	5	1	4.20	4.15	0.05
			3年生	63	31	12	1	0	4.46	4.31	0.15
			全学年	180	122	58	9	1	4.29	4.19	0.09

① 学習指導

項目1「学校の授業は、わかりやすく工夫をした、充実したものだと思いませんか」は、学習指導3項目中最も高い評価ではあるが、昨年度と比較するとほぼ同水準の結果となった。しかし、一昨年度からは4.10→4.09→4.06と推移しており、若干減少している傾向が見られる。特に今年度は、コロナ禍の臨

時休校期間が続く、一部の教科では遠隔授業を実施したものの対面での授業と勝手が異なり、充実させることの困難さが原因の一つと考えられる。一方で、今年度の3年生4.24は、昨年度2年生時の3.97から0.27ポイント増加しているのに対し、今年度の2年生3.92は、昨年度1年生時の4.10から0.18ポイント減少している。このように経年分析をしたとき、3年生は増加しているのに対し、2年生が減少傾向にある項目が、今回の調査の全12項目中約半数の5項目で見られた。また、今年度の2年生が1・3年生よりも低く評価している項目も全12項目中9項目に及んだ。この状況は昨年度も見られたことから、総じて2年生では、いわゆる「中だるみ」を案じた保護者が1年生時よりも低く評価する傾向にあるのか、次年度以降も注視していく必要がある。

項目2「お子様は、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていますか」が今回の12項目中最も低い評価3.59で、昨年度の3.63から0.04ポイントの微減となった。先述のように、4月～6月の約3ヶ月間、コロナ禍の臨時休校や分散登校期間が続く、家庭での学習を余儀なくされた現実を踏まえるとやむを得ないところもある。そんな中でも今年度の3年生3.98は、昨年度2年生時の3.57から0.41ポイント増加し改善が見られる。さらに評価1や2をつけた保護者が25%程度いるのは1・2年生のみに留まり（3年生は9.3%）、その2年生でも昨年度の1年生時よりも0.04ポイント微増している。これらのことから、家庭学習については、特に1・2年生を中心に必要に応じて助言や指導をしていく必要がある。

項目3「お子様は、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したりできていますか」は、昨年度の3.67から0.08ポイント微増し、3.75になった。学年毎に経年変化を見ても、今年度の3年生3.87は、昨年度2年生時の3.48から0.39ポイント増加し、今年度の2年生3.63も、昨年度1年生時の3.61から0.02ポイント微増している。昨年度から再スタートした探究の時間「附中探Q記」で、「積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したり」する活動を確保できたことが原因の一端といえる。今後も継続して、普段の授業から発表の機会を多くすることで、より良い課題解決を探っていく授業を教員は意識していく必要がある。

② 生徒指導

項目4「教員は生徒一人一人の性格や考え方を大切に、良さを伸ばす指導をしていますか」と項目5「教員は生徒が困った時に親身になって対応していますか」は、いずれも一昨年度から昨年度にかけて微減した項目だったが、項目4は0.18ポイント、項目5は0.20ポイント昨年度よりも増加した。経年分析でも現2年生、3年生ともに増加した結果となった。引き続き、生徒観察（生徒理解に努めること）、教員間の連携を意識していくことに努めたい。

項目6「お子様は、ルールやマナーを守り、学年にふさわしい規律や規範意識をもつことができますか」の評価は昨年度と同じ値を維持し4.33と高かった。今後も生徒の良心に訴えかける日頃からの積極的な生徒指導を継続していきたい。

③ 学校運営

学校運営に関わる6項目中、5項目で昨年度よりも増加した。さらに、項目10「附属中学校に入学させてよかったと思いますか」、項目11「学校は情報公開や家庭との連絡・連携に努めていると思いますか」、項目12「学校は国立大学附属学校としての社会的使命を十分に果たしていると思いますか」の3項目は、この3年間で最も高い結果となった。一方で、昨年度と比べて唯一ほぼ横ばいの結果となった項目が、項目9「お子様は、学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習など特色ある活動になじんでいると思いますか」だった。コロナ禍により校外学習が中止になった2年生が昨年度4.37から4.31へ0.06ポイント微減したのに対し、3年生は昨年度4.22から4.46へ0.24ポイント増加した。校外学習だけでなく、運動会が中止、文化祭がオンライン開催（保護者の来校不可）になるなど、中学校生活最後の記念となるはずの行事が予定通りに実施できない状況であっても、学校の対応やそれに至るまでの工夫や配慮のプロセスをきちんと理解していることが高評価につながったと考えられる。今後も続くコロナ禍での学校運営について、誠意をもって対応を進めていく必要がある。

最後に、現3年生について入学時からの3年間を経年比較すると、全12項目のすべてで今回の調査が最高結果となった。その中で、最高値4.52をとったのは、項目10「附属中学校に入学させてよかったと思いますか」であった。この結果に満足することなく、今回の調査で明らかになった課題の解決に努めたい。

(3) 教職員アンケート

評価基準は5・・・そう思う 4・・・ややそう思う 3・・・どちらとも言えない 2・・・あまりそう思わない 1・・・そう思わない の5段階です。

	番号	評価項目	5	4	3	2	1	平均	R1年度 平均	増減	30年度 平均
学習指導	1	教員は熱心に工夫をして、授業をしていると思いますか。	19	9	0	0	0	4.68	4.68	0.00	4.57
	2	教員は、生徒自らが計画を立て、学校外で適切に学習ができるよう指導していると思いますか。	5	13	10	0	0	3.82	3.96	△ 0.14	3.50
	3	教員は生徒が自分で課題を解決したり、意見を発表したりする授業をしていると思いますか。	16	11	1	0	0	4.54	4.50	0.04	4.39
生徒指導	4	教員は生徒一人一人の性格や考え方を大切にして指導していると思いますか。	17	8	3	0	0	4.50	4.25	0.25	4.00
	5	生徒や保護者が困ったときに、教員は親身になって対応していると思いますか。	20	5	3	0	0	4.61	4.54	0.07	4.46
	6	教員は生徒がルールやマナーを守り、規律ある生活を送れるように指導をしていると思いますか。	7	13	5	3	0	3.86	3.71	0.15	3.61
学校運営	7	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。	9	10	3	5	1	3.75	3.21	0.54	2.82
	8	学校は生徒が将来、社会に出た時に役に立つ力をつけていると思いますか。	12	11	4	1	0	4.21	4.14	0.07	4.11
	9	教育課程や学校行事などの教育活動、入学者選抜や学校評価などが適切に行われていると思いますか。	14	12	2	0	0	4.43	4.04	0.39	3.64
	10	安全点検や保健安全対策、防災対策、情報セキュリティ対策が着実に進められていると思いますか。	9	16	3	0	0	4.21	3.82	0.39	3.86
	11	会議・打ち合わせや校務分掌、生徒指導や保護者対応などについて、校内体制が整備され、円滑に進められていると思いますか。	6	18	2	2	0	4.00	3.43	0.57	3.57
	12	学校全体や各教科、個人の教育実践研究が意欲的に進められていると思いますか。	11	13	3	1	0	4.21	4.32	△ 0.11	4.04
	13	教育実習指導が適切に実施されていると思いますか。	13	12	2	1	0	4.32	4.11	0.21	4.11
	14	大学・学部との連携・協力や地域との連携・貢献が積極的に行われていると思いますか。	6	14	6	2	0	3.86	4.14	△ 0.28	3.86
	15	学校は国立大学附属学校としての社会的使命を十分に果たしていると思いますか。	11	13	3	1	0	4.21	4.18	0.03	3.75

① 学習指導

学習指導で平均4ポイントを下回ったのは、項目2「教員は生徒自らが計画を立て、学校外で適切に学習ができるよう指導していると思いますか。」で平均3.82ポイントである。この項目は昨年度3.96で0.14減少している。今年度はコロナ感染防止のために休校措置を行い、5月まではHPで課題提示を行い、生徒自身の計画で家庭学習を行わざるを得なかった。その際、学習の進捗や計画的な実施、達成までを自己コントロールできずにため込んでしまう生徒が見られた。その点については家庭へのアンケート調査においても明確になり、学校全体でも問題として取り上げ、対応策を打ち出した。この項目に関しては、本校の学校教育目標の実現とも深く関係するところである。今後、更に自立した学習習慣を営める支援を講じていく必要がある。来年度からは新学習指導要領に則って教育課程が展開される。その際に、主体的に学習に取り組む態度の育成に向けて、教師側も指導や支援の在り方について、研鑽を積んでいく必要があろう。

その他は、昨年度よりも数値としては上回る結果が得られた。教員それぞれがオンライン学習やHPでの課題提示など、休校措置の際に取り組んだノウハウを共有したり、新たな学習指導や学習支援のありかたに前向きに取り組んだりしたことを教員間で共有、蓄積していることの表れであると考ええる。

② 生徒指導

生徒指導で平均4ポイントを下回ったのは、項目6「教員は生徒がルールやマナーを守り、規律ある生活を送れるように指導していると思いますか。」で平均3.86ポイントであるが、昨年度より0.15ポイント上昇した。本校は校則やルールに縛ることなく、生徒自身が考えて行動規範を設けたり、判断したりすることを求めている。学校側の提示したルールやマナーを守ることが大切なのではなく、子ども自身が様々な経験や失敗を通して判断基準を持つよう指導している。しかし、全てを生徒任せにするのではなく、機に応じ、様々な場面で生徒自身が行った判断が適切であったかどうか、経験や失敗をどのように生かしていくべきかを内省させることも必要である。また、判断を安易に委ねるのではなく、積極的な生徒指導として、規律ある生活を促す内的動機付けを行っていく必要がある。その点で、今後更に全職員が指導の基準や方向性を共通理解できる場を設けていくことが大切となる。

③ 学校運営

学校運営に関しては、生徒・保護者と教員とで、評価に差が見られた。運営する教員側の評価が低いのは、学校を運営する側の自己改善への意欲の表れでもある。しかし、昨年度よりも項目10、11は飛躍的に数値が上昇した。この点については後述することとする。先に、平均4ポイントを下回る項目について述べることにする。

項目7「学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。」は3.75ポイントで、昨年度よりも0.54ポイント上昇している。エアコンの修繕が行われ、学習環境が整ったことがプラスに評価された要因であると考えられる。また、コロナ対策として、手指消毒用のアルコールの設置や加湿器の設置も行った。更に、教員用のPCも新たになり、教室や廊下の窓に網戸サッシが設置された。このように環境改善を徐々に行っていることがプラス評価に影響したと考えられる。ただし、老朽化に伴い、様々な面でのメンテナンスが必要である。今後もどこにどのくらいの費用をかけられるのか考え、学習環境の改善に努めていく必要がある。

項目14「大学・学部との連携・協力や地域との連携・貢献が積極的に行われていると思いますか。」は3.86ポイントで、昨年よりも0.28減である。やはりコロナ禍の影響により、公開研究会が中止された点や実習生の受け入れが夏休み以降となった点、生徒たちが学校生活を安定して送れるまでは連携を行って行くことが難しかった点、地域との交流の実現は物理的に困難であった点などが要因として考えられる。しかし、そのような中でもオンラインでPTAとの連絡協議を行ったり、本校文化祭を限定ではあったが附属小学校の児童・保護者や受験を考えている児童にオンラインで配信したり、全国附属連合主催のオンライン文化祭に応募したり、附属特別支援学校の生徒会とオンラインで交流会を持ったりするなど、手法を変えて連携・交流できる方法を模索した。コロナ感染対策が収まるまで、当分の間、新しい交流や連携の在り方を探っていく必要がある。

昨年度よりも数値が飛躍的に伸びた2項目について次に述べる。

項目10「安全点検や保健安全対策、防災対策、情報セキュリティ対策が着実に進められていると思いますか。」については、これもコロナ感染対策として行ってきた生徒の健康観察や安全対策につ

いて評価されたものと考えられる。休校措置が解除される前に教員がどのような対策をとるか綿密に話し合いを重ねた。全職員で生徒受け入れ前に校舎内の掲示や健康観察の行い方、入学式やテストなどの密になりそうな状況の回避方法などを考え、運営したことで、連帯意識や各自の責任が自覚されたものとする。また、今年度は防災訓練時に担当者が災害についての動画を各クラスで放送し、意識啓発を行った。そのような点が高く評価されたとする。

項目 11「会議・打ち合わせや校務分掌、生徒指導や保護者対応などについて、校内態勢が整備され、円滑に進められていると思いますか。」については生徒指導主事が毎日、情報収集を行い、翌朝情報共有を行うというスタイルが定着した。これにより、連絡・報告が密になり、情報共有が徹底され、SCやSSWとの連携や支援の方針も明確になった。今後も職員相互の情報共有を大切にしながら、チームで対策や対応に当たれるようにしていく必要があるとする。

4 学校評価（自己評価）の総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、5月末まで休校措置をとり、6月に学校を再開し、4週間の分散登校期間を設けた後、6月末より通常登校とし、夏季休業期間を短縮する等して対応した。5月までの休校期間中は、学校ホームページを活用した遠隔での学習支援を実施し、概ね期間中に予定されていた授業内容の半分程度の内容を扱うことができた。他方、5月に予定されていた運動会、6月に予定されていた公開研究会、8月に予定されていた3学年校外学習（関西方面を予定）は中止となり、教育実習は期間を短縮し、部活動やPTA活動も大幅に制限されることとなった。また、文化祭の成果をオンラインで保護者や小学生に発表したり、1学年及び2学年の校外学習について予定を大幅に変更して実施したり、各教科で行う研究会をオンラインで実施する等、感染防止に配慮してさまざまな取り組みを実施した。

このような状況下であったが、アンケート結果においては評価が著しく下がった項目は見られず、教職員や生徒の尽力はもちろん、保護者や大学関係者等の協力に支えられ、本校が求められる使命を一定程度果たすことができたものと考えられる。

（1）学習指導

新型コロナウイルス禍の状況にあって、本校においては情報機器を積極的に活用し、新しい方法を積極的に模索しながら学習指導に取り組んできた。休校期間においては、「生徒は平日毎朝9時に学校ホームページを見る」ことを基本として、各教科担当の教員や学級担任等から連絡を行ったり課題を出したりし、生徒からもホームページ上のフォームを通して課題の提出ができるようにし、さらには試行的にオンライン会議ツールを活用した同時双方向授業も実施した。学校再開後は、複数の教室をオンライン会議ツールで接続して行事や学級活動を行ったり、2学年が例年実施しているキャリア学習としての「学部訪問」をオンラインで実施したりと、情報機器を積極的に活用して学習が進められた。また、前年度より新しい形で始まった探究の時間（附中探Q記）においては、学年を超えた活動ができなかったものの1学年ではスキル学習、2・3学年では「個別探究」を実施し、生徒たちの満足度の高い活動を行うことができた。こうしたことがらに代表されるように、新型コロナウイルス禍という状況においても、これまで教職員が研究的に教育実践に取り組んできたことや生徒たちが自主的に学んできたことが活かされ、制約が大きかったにもかかわらず一定程度、充実した教育活動を実施することができたものと考えられる。

アンケート結果においても、生徒、保護者、教員すべてより、学習指導については概ね高い評価が得られている。ただし、前年度も課題となっていた計画的な学習や積極的な課題解決等に関しては、新型コロナウイルス禍において改善に向けた取り組みを十分行うことができず、引き続き改善に取り組む必要があることがうかがわれる。

（2）生徒指導

本校においては、生徒指導や教育相談等の課題に関して、組織的で迅速な対応がとれるよう、従前より体制を整備してきた。令和2年度においては、前年度までは学年主任が務めることが続いていた生徒指導主事を、学年主任でなく主幹教諭が担う体制をとり、日常的に生徒指導主事が各学年・学級の状況を集約し、管理職等に共有することができた。また、千葉大学子どもこころの発達教育研究センターとの連携を進め、同センターのセンター長が毎週のエデュケーション相談部会に参加し、生徒のストレスチェックの試行を始める等、生徒の実態に合わせ、積極的な取り組みを進めることができている。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談員、養護教諭、各主任や学級担任等の連携も円滑であり、学校全体において生徒に親身になり、生徒や保護者の話を丁寧に傾聴する生徒指導がかなりの程度実現できているものと考えられる。

アンケート結果においても、生徒及び保護者から各項目でそれぞれ高い評価が得られており、一部の学年で前年度評価が低かった項目においても改善が見られている。教員からの評価も概ね高いものの、生徒の規律に関してはまだ課題が見られる。生徒の不注意による事故も散見されるので、事故防止の意味でも生徒の規律に関しては今後指導の改善を図る必要がある。

（3）学校運営

学校運営においては、前年度までに施設・設備の改善や教員の「働き方改革」の取り組みが一定程度進み、新型コロナウイルス禍においても大学と連携しながら必要な取り組みを遅滞なく行うよう務めてきた。しかしながら、新型コロナウイルス禍において、教育実践、研究活動、PTA活動等に大きな制約が生じてしまい、学校行事や公開研究会等、実施できないことが多かった。

アンケート結果においては、項目によって増減はあるものの、生徒からも保護者からも各項目で概ね高い評価が得られた。ただし、そうした中で3年生生徒の評価には、新型コロナウイルス禍の影響と見られる低下傾向も見られており、最高学年において楽しみにしていた学校行事や部活動が大きな制約を受けたことが影響していることがうかがわれる。また、教員においては、大学・学部との連携や地域との連携・貢献で大きく評価が低下しており、新型コロナウイルス禍で活動が制限されたことの影響が大きいことがうかがわれる。さらに、大きく改善されたとは言え、教員の施設・設備についての評価は低く、今後、トイレやエレベーターの整備をはじめとする改善を図ることをはじめ、学校施設をさらに使いやすいものにするための検討を行う必要があると考えられる。

国立大学教員養成課程に求められている地域連携・社会貢献については次の表の通りである。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限されたため、昨年度よりも3割ほど件数が少なくなってしまった。その中であって、それぞれの教員は多岐に亘る活動を行い、その使命を果たした。

活動の内容		計
①学生スクールサポーターの活用	学習指導	3
	学校行事	2
	生徒会活動	1
	部活動	1
②研修指導講師 各種役員 等	教員対象研修講師	7
	児童・生徒対象研修講師	2
	公開研究会	0
	教育行政(国・県・市)や団体の委員、研究協力	8
	教育行政や団体の運営実務(役員)	8
	教育関係講演会講師・シンポジスト等	2
	研修派遣の受入(他国・他校から)	0
	部活動・体育関係団体の運営実務(役員)	9
	その他	4
③外部資金の獲得・受賞	外部資金(科学研究費等)の獲得	0
	受賞	0
④研究発表	論文(学会等)	4
	口頭発表	9
	執筆(本・雑誌等)	15
教育学部連携研究への参加		11